

科目名	経済データ解析論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Analysis on economic data	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
			開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	たむら ひであき	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	田村 英朗	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	経済データの分析手法について理解し、その分析結果について正しく解釈できる力を身につける。				
到達目標	経済データの分析手法とその背景にある考え方が理解できるようになる。 推定結果の見方の基本事項を理解し、自分で結果の解釈ができるようになる。				
授業概要	計量経済学の有用性と分析の流れを理解し、分析および解釈の前提となる統計学の考え方および実際の分析手法となる単回帰分析、重回帰分析とその回帰モデルの検定方法について学びます。そして、テキストに掲載されている実証分析の事例に基づき推計結果を解釈する能力を養います。				
授業計画					
第1回	計量経済学の有用性と分析の流れ【山本1】				
第2回	経済的諸指標とその見方				
第3回	数学の基礎				
第4回	理論と実証、データの種類の種類、推定結果を理解するための用語や概念【山本2】				
第5回	データ解析(1) グラフ作成と相関係数【豊田他2】				
第6回	データ解析(2) 正規分布と正規分布表【豊田他5】、t分布等【豊田他6】				
第7回	データ解析(3) 回帰分析、最小二乗法、誤差項と残差【豊田他10】				
第8回	データ解析(4) 単回帰分析、決定係数【白砂3】				
第9回	データ解析(5) 推定結果の見方				
第10回	データ応用解析(1) 重回帰分析、自由度修正済み決定係数【白砂4】、多重共線性				
第11回	データ応用解析(2) 回帰モデルの仮説検定と予測【白砂5】				
第12回	データ応用解析(3) 簡単な非線形モデルの扱い、ダミー変数の活用【山本3】、関数形と弾力性				
第13回	データ応用解析(4) さまざまな推定結果の見方とその実践【山本4】				
第14回	データ応用解析(5) 最小二乗法の適用条件、適用条件が成立しないケースと対処方法【山本5】				
第15回	復習				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	経済学入門を履修していることを前提として講義を進めます。				
テキスト	「実証分析のための計量経済学—正しい手法と結果の読み方」山本勲 中央経済社(2015)【山本】 テキストは推計結果の解釈の演習等に使用しますので、必ず購入してください。 統計学および分析手法については参考文献に準拠しています(授業計画の【】内、数字は章番号参照)。 これらの購入は任意としますが、保有するテキスト等で該当項目を確認しておいて下さい。 なお、適宜資料を配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。 ※1年生など経済学入門履修前の学生については、「マクロ経済学の基礎理論」武隈慎一 新世社(1998)をサブテキストに指定しますので、同テキストを購入の上、授業時間外に同テキストの第1章～第4章(但				

	し、第2章3節、第3章の補論、第4章4節を除く)を読んで授業へ参加して下さい。また、サブテキストで不明な点があれば授業後もしくはオフィスアワー等で適宜、質問して下さい。
参考文献・資料	白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学(第2版)』日本評論社、2007年。【白砂】 豊田利久,小川 一夫,長谷川 光,谷崎 久志『基本統計学(第3版)』東洋経済新報社、2010年。【豊田他】
成績評価の方法	小テスト・レポート40%、定期試験60%をおよその目安として、総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板(ポータルサイト含む)で指示します。
オフィスアワー	担当科目がある曜日の第4時限の時間帯 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。(毎週金曜日を除きます)
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私はIT企業にて不動産の賃料・価格決定の要因分析を手掛けてきました。この授業を通して、皆さんにはエクセルの回帰分析ツールの概要を理解して、単なる知識に留めることなく計量経済分析を実践できる能力を身に付けていただきたいと思います。
学生へのメッセージ	最近統計ソフトの開発・普及が進み、難解な数学理論の知識がなくても高度な実証分析ができるようになりました。その恩恵を十分に享受して今後の実社会の活動に役立てるため、推計結果を正しく解釈する能力を頑張って身に付けていきましょう。